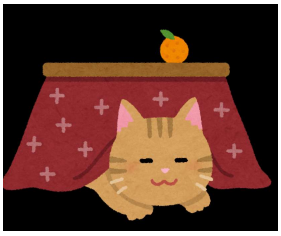
# レオ通信

12月1日
月曜日
発行者
レオ・グループ

## 季節性インフルエンザにもご注意ください

早いもので、今年もわずかになりました現在は、新型コロナウイルス感染数も兵庫県下では数名となっております又、新型コロナウイルスと並行して季節性インフルエンザやノロなど流行時期になります皆様におかれましてもマスクの着用・手洗い・うがい等、予防を行って頂き、お体に十分に気をつけてお過ごしくださいませ尚、第6波新型コロナウイルス（オミクロン株）流行の際は、制限をさせて頂きます。入居者様・家族様にはご不便をおかけし申し訳ありませんが、ご理解の程宜しくお願い致します。今年も、皆様のお力添えにより、現在まで、レオグループ内入居者様から新型コロナウイルス感染者も出すこと無く1年間頑張る事が出来ました御家族の協力あって事です、心より感謝申し上げます。来年も更に皆様のご期待に添える様、努力して参る所存でございます皆様にとって来年もよい年でありますように



## 「常務小倉のコラム・コラム」

### 「鬱袋」

いよいよ12月です。はやくも12月です。毎年思いますが、1年は早いです。言ってる間にいつの間にか新年迎えて・・・。嫌になっちゃいますね。そんな年末年始の話題といえば福袋ですね。毎年いろんなところが福袋をだしてニュースになっていますね。スーパーや百貨店、服屋さんやファーストフード店などはもちろん、猫も杓子も福袋です。福袋とは七福神の福の神で有名な大黒天さんの持っている袋のことで、中身はお金やお米などではなく幸運や幸福が入っているとされ、大黒天さんがその福を分け与えてくれると言われています。最初に福袋を売り出したのは諸説あり、大丸説や三越説などがありますが、江戸時代から始まったことのようです。昔の福袋のイメージは大体処分品やサイズが合わない服などの買うときはすごい楽しみだけどほとんど無駄になったりと買って後悔することが多いようなものばかりのイメージでしたが、最近は入っているものが予めわかっている物や、商品券が入っていて絶対にもとが取れるものなど大きく様変わりしています。とはいえ今でもこれはハズレの福袋だなってのもあるようで、SNSでは買ったけど中身の良くなかったものを福袋ならぬ鬱袋（うつぶくろ）とよんで公開して盛り上がっています。それに便乗して堂々と「鬱袋」とか「極鬱袋」として売り出すお店もでたりで、逆に中身が気になったりしそうです。福袋を買う前に神社にお参りに行って神様に当たりが引けますようにとお願いしようかな。ちなみに横の写真は弊社のデイサービスのご利用者様と厄神さんに年末詣に行ってきたもので、純粋に今年一年の感謝を伝えに行ったもので決して福袋のお願いではございません。

## 『編集後記』

本年もレオグループをご愛顧いただき誠にありがとうございました。昨年に引き続きコロナ禍で新年を迎えることになりますが、来年こそはコロナウイルスが収束し、平穏な日常に戻れることを願うばかりです。皆様引き続きお体には気を付けて良き新年をお迎えください。

レオグループ
代表　近藤勝利